

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28年 5月 9日

計画の名称	1 誰もが安全・安心に利用できる都市公園施設の整備									
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)				交付対象	白山市				
計画の目標	障害者をはじめ子どもや高齢者をはじめ誰もが安全な施設で安心して利用できる公園とするため、園路や便所等においてバリアフリー化の未整備箇所を整備する。 また、長寿命化計画に基づいた公園施設の改修、更新を行い公園利用者の安全を図る。									
計画の成果目標 (定量的指標)	・高齢者や障害者など、多くの市民の利用が可能となる。 ・バリアフリー化済みの公園を11箇所 (H22末) から22箇所 (H27末) に増加 ・公園施設及び遊具を計画的に整備しライフサイクルコストの縮減を図る。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
						当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)		
① 市民1人当たりのバリアフリー化済み都市公園面積						2.7㎡/人		4.1㎡/人		
②										
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	277百万円	A	222百万円	B	0百万円	C	55百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.86%
事後評価										
○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期				
白山市において評価を実施						平成27年度				
						公表の方法				
						白山市のホームページで公開				
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			・都市公園の老朽化施設の改築・更新、バリアフリー化を重点的に実施したことにより、安全安心に利用できる公園施設の充実が図られ、安全安心が確保された公園を市民に提供することが可能となった。							
II 定量的指標の達成状況		指標① (市民1人当たりのバリアフリー化済み都市公園面積)	最終目標値	4.1㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	予定どおり都市公園のバリアフリー化 (主にトイレのバリアフリー化) が実施できた。				
			最終実績値	4.2㎡/人						
		指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因					
			最終実績値							
		指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因					
			最終実績値							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
3. 特記事項 (今後の方針等)										